

授業科目名		履修対象	履修期間			
服飾技術実習		アパレル造形科	期間区分	1年・通年	時間数	450時間
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必須	造形系学科	実技70％・講義30％	なし			
科目概要	平面で製図した型紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用する、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得を身につける。					
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。					
評価方法	各課題において製図・縫製など習熟度、および完成度、技術面だけではなくデザイン面、全体のバランスなど総合評価100ポイント。 筆記試験もプラス評価とする。 出席率75 %未満および、成績評価60点未満は補習。出席率65%未満は留年とする。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	用具の説明(洋裁用具の使用の仕方説明)				4/13/2021
	2	ピンクッション				4月13日～4月20日
	3	基礎縫い(手縫い技法の部分縫い)				4月13日～4月20日
	4	トートバッグ				4月20日～4月22日
	5	セミタイトスカート				4月27日～5月19日
	6	シャツ				5月20日～6月9日
	7	ワンピース				6月10日～7月13日
	8	パンツ				9月1日～10月7日
	9	ベスト				10月12日～11月25日
	10	修了制作				11月30日～2月10日
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	鷺	コレクションブランドのデザイナー、数々の舞台衣装のデザイナー経験を経て、その経験と知識を生かして、技術指導を行う。				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
ファッション素材学		アパレル造形科	期間区分	1年・後期	時間数	57.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	全科	講義	なし			
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。製品の取り扱いなど繊維の特性をしる。					
習得項目	実務につくには必要になる服飾素材に関する知見の習得。繊維の種類、分類特性を知る。繊維、生地の名前をしる。生地の取り扱い方、特性をしる。					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記テスト」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる)出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	オリエンテーション、				9/3/2021
	2	繊維の分類、名称				9/10/2021
	3	織物の三原組織				9/17/2021
	4	織物模型実習				9/24/2021
	5	糸について				10/1/2021
	6	見本帳の作成				10/8/2021
	7	基本的な柄の知識				10/15/2021
	8	秋冬の布				10/22/2021
	9	編み物について				11/5/2021
	10	裏地、芯地について				11/12/2021
	11	デニム、ジーンズ				11/19/2021
	12	レース				11/26/2021
	13	皮と毛皮				12/3/2021
	14	不織布、フェルト				12/10/2021
	15	染色、プリント				12/17/2021
	16	繊維の見分け方				12/24/2021
	17	加工について				1/14/2021
	18	新しい素材				1/21/2021
	19	ペーパーテスト				1/28/2021
	20	おさらい、解説				2月4日～
担当教員						
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	古賀	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家としての活動において、多くの資料を所有し、授業において役立てている。				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
服飾史		アパレル造形科	期間区分	1年前期	時間数	35
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	全科	講義100%	なし			
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。					
習得項目	ファッションを学ぶ上で、歴史や文化的側面についての知見を高める。 作品制作において資料として活用する。現代の衣服に置き換えて考える。デザインの参考にする。					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記テスト」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	オリエンテーション				4/16/2021
	2	古代エジプト、メソポタミア				4/23/2021
	3	古代ギリシャ、ローマ				4/30/2021
	4	ビザンチン、ロマネスク				5/7/2021
	5	ゴシック、ルネサンス				5/14/2021
	6	バロック、ロココ				5/21/2021
	7	フランス革命、ナポレオン				5/28/2021
	8	近代、市民革命				6/4/2021
	9	世紀末				6/11/2021
	10	20世紀				6/18/2021
	11	アールヌーボー、アール・デコ				6/25/2021
	12	1930年代				7/2/2021
	13	ペーパーテスト				7/9/2021
	14	第二次世界大戦後				7/16/2021
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	古賀	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家としての活動において、多くの資料を所有し、授業において役立てている。				○

授業科目名		履修対象		履修期間				
スタイル画		アパレル造形科		期間区分	1年・前期	時間数	32.5	
選択区分	履修区分		授業形態		企業連携(連携企業)			
必修	造形技術系		実技・実習		なし			
科目概要	基礎トレーニングとして 1.初期修練としてデッサンを行うことで、構図バランス・造形力・視覚的感性の向上をはかり造形バランスの感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画画力のアップ、描画テクニックと表現力を身につける。							
習得項目	デッサンやクロッキーから描画力を養い、スタイル画での素材感やキャラクターのスタイル表現をしっかりと身につけ、各種コンクールへ作品入選を目指し、アパレル企業へのデザイナー職を目指す上で必要な表現テクニックや製品平面図を正確に確実に描けるようにする。							
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「テスト評価」100ポイント、「課題評価」100点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。							
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日		
	1	人物クロッキー	授業説明・デッサン用具準備・クロッキー			4/15/2021		
	2	基礎デッサン	石膏デッサン（用具準備・説明）			4/22/2021		
			石膏デッサン（構図とアタリ、描始め）			5/6/2021		
			石膏デッサン（陰影・調子）			5/13/2021		
			石膏デッサン（質感・ディテール）			5/20/2021		
			石膏デッサン（仕上げ）			5/27/2021		
	3	スタイル画 1	模写（人物写真）トレース			6/3/2021		
			複写、着彩			6/10/2021		
			着彩まとめ			6/17/2021		
	4	スタイル画2	基本ヌード（フレーム 9 頭身）			6/24/2021		
			基本ヌード（フリーハンド）			7/1/2021		
			着装スタイル画（共通モチーフ）			7/8/2021		
			着装着彩スタイル画（共通モチーフ）			7/15/2021		
担当教員								
講師区分	名		講師略歴				企業・当該実務経験者	
常勤	石川		国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。				○	

授業科目名		履修対象		履修期間			
デザイン演習		アパレル造形科		期間区分	1年・後期	時間数	57.5
選択区分	履修区分		授業形態		企業連携(連携企業)		
必修	造形技術系		実技・実習		なし		
科目概要	体験実習を通してデザイン、デザイナーについての基礎知識や作品製作技術を身につける。 1.素材や加工テクニックについて実習を通して理解を深め、コンセプトメイキングや各自の作品製作に生かしてデザイン力の発展をはかる。 2.デザイナー、またはパタンナーとして就業後に必要となる知識とスキルを身につける。						
習得項目	テキスタイルの表現(シルクスリーンプリントテクニック、染色、加工技術実習)により、素材と結びついたイメージの作成に役立てて自身の作品に、より高度な完成度を求める。また、実務に即した面としてコンセプトメイキングから、企画書、仕様書の作成を身につける。						
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日	
	1 「知る」 体験体験	テキスタイル実習 1		シルクスリーンプリント実習		9/2～10/7(5回)	
		応用実習		デザイン企画～仕様書・指示書作成		10/14～10/21(2回)	
		テキスタイル実習 2		染色～素材加工（ウール）		11/4～11/25(4回)	
		応用実習		デザイン企画～プレゼンテーション		12/2～12/16(3回)	
		トレンド分析		コレクション分析（予備日）		12/23(1回)	
	2 実務実習	デザイン・アイテム名称		平面図（平置き製品図）、教科書「スタイルブック」		1/13～2/3(4回)	
				修了作品		2/10～2/24(3回)	
	3			基礎課程ショー、並びに補習		3/3～3/10(2回)	
担当教員							
講師区分	名		講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	石川		国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験から技術や表現について指導する。				○

授業科目名		履修対象	履修期間				
ドレーピング		アパレル造形科	期間区分	1年・通年	時間数	87.5	
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)				
必須	造形系学科	実技80％・講義20％	なし				
科目概要	目的寸法からの計算式をもとに行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布(シーチング)をあてながら立体的に服飾パターンを作成する。						
習得項目	布(シーチング)、ピンの扱いをはじめとして、実際に服飾用人体ボディーに布をあててドレープのラインやクセ取りダーツの理解を深め、立体裁断からパターンの理解を身につける。						
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「テスト評価」100ポイント、「実習実技の習得度」100点ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75％未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65％未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日	
	1	ピンクッション				4/19/2021	
	2	トートバッグ				4/26/2021	
	3	ドレーピング、パターンについて				5/10/2021	
	4	縦糸、横糸地の目について				5/17/2021	
	5	前・後原型1回目(サイドダーツ)				5月24日～6月7日	
	6	前・後原型2回目(ショルダーダーツ)				6月14日～6月28日	
	7	トレース				7月5日～7月19日	
	8	応用ブラウス(Vカラー・ノースリーブ・V切り替え)				9月6日～9月27日	
	9	応用ブラウス(丸カラー・フレンチスリーブ・U切り替え)				10月4日～11月1日	
	10	スカート(タイトSK・セミタイトSK)				11月8日～11月29日	
	11					12月6日～1月31日	
	担当教員						
	講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	中島	長年、アパレル企業のパタンナーとして勤務。その実務の経験からパタンナーの育成に向けた、ドレーピングの基本技術やパタンナーメイキング全般スキルを指導する。				○	

授業科目名		履修対象	履修期間			
Mac演習1		アパレル造形科	期間区分	1年・通年	時間数	87.5時間
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	演習50%・実技40%・講義10%	なし			
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得					
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「ペーパーテスト」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	授業内容説明・ソフトウェア使い方・設定方法				4月12日～4月19日
	2	illustrator(図形描画・文字・カラー設定)				4月26日～5月10日
	3	Illustrator(クリッピングマスク)				5月17日～5月31日
	4	Illustrator(トレース)				6月7日～6月21日
	5	Photoshop(基本ツール説明)				6月28日～7月5日
	6	IllustratorとPhotoshopを使用したコラージュ作成課題				7月12日～9月6日
	7	Photoshop(ブラシツール・歪みツール等)				9月13日～9月13日
	8	Illustratorを使ったデザイナーMap作成課題				9月27日～10月11日
	9	IllustratorとPhotoshopを使った映画ポスター制作課題				10月18日～11月8日
	10	Illustratorを使ったテキストスタイルデザイン課題				11月8日～11月22日
	11	Illustratorトレースを使った企業ロゴ制作課題				11月29日～12月13日
	12	Illustratorを使ったハンガーイラスト描画課題□				12月20日～1月31日□
	13	Illustrator・Photoshopを使ったハンガーイラスト柄付け作業□				2月7日～2月28日
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	梨本	アパレルグラフィックデザイナー・VMD等各種プロデュース 大手アパレル企業デザイナー・国内デザイナーパリコレ衣装制作				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
就職ガイダンス		アパレル造形科	期間区分	1年・後期	時間数	47.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	講義(オンライン)100				
科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。					
習得項目	自己分析や企業・職種研究によって仕事への理解を深め、希望する企業や職種を定める。年々早まる採用スケジュールと足並みをそろえた就職活動を行えるよう、採用試験に関する基本的な知識を身につける。					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	オリエンテーション(授業説明、就職活動の流れ、就職意識調査)				9/3/2021
		学校行事				9/10/2021
	2	仕事とは？働き方とライフスタイル				9/17/2021
	3	自己分析(性格テスト、マインドマップの作成)				9/24/2021
	4	アパレル業界概論				10/1/2021
	5	アパレル職種研究				10/8/2021
	6	内定者からの就職体験談、就活スケジュール作成				10/15/2021
	7	求人情報の調べ方、就活ツール解説				10/22/2021
	8	企業説明会				11/5/2021
	9	採用担当シュミレーション(採用条件・基準の作成)				11/12/2021
	10	採用担当シュミレーション(課題発表)				11/19/2021
	11	自己PR対策				11/26/2021
	12	面接マナー、対策				12/3/2021
	13	書類選考課題対策(過去事例の紹介、課題作成)				12/10/2021
	14	書類選考課題対策(課題フィードバック)				12/17/2021
	15	ポートフォリオ対策				12/24/2021
	16	志望企業リストアップ				1/14/2022
	17	履歴書作成□				1/21/2022
	18	履歴書作成フィードバック□				1/28/2022
19	今後の就職活動				2/4/2022	
担当教員						
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	久野	いくつかの業界にわたる実務と役職からの経験を生かし、採用人事からの視点による人物評価を踏まえた指導にあたる。				

2021年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間			
カラー		基礎科(アパレル技能科・アパレル造形科)	期間区分	1年・前期	時間数	35
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必須	造形系学科	オンライン講義100%	なし			
科目概要	1. AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。					
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。 さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	授業オリエンテーション(色彩検定の概要や取得目的を知る)				4/16/2021
	2	色の表示(色の分類と三属性、PCCS)				4月16日～4月23日
	3	色彩心理(色の心理的効果、色の視覚効果)				4/30/2021
	4	配色イメージ、ファッションと色彩、流行色について				5/7/2021
	5	色彩調和				5月7日～5月21日
	6	光と色(色が見えるしくみ、照明と色の見え方、混色と混色の身近な応用例)				5月28日～6月4日
	7	検定直前対策(出題ポイントを項目[全8項目]ごとに解説)				6月11日～6月25日
	8	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート				7月2日～7月9日
	9	パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方				7/16/2021
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
非常勤	堀川彩里	文部科学省後援色彩検定協会認定 色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う。				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
服飾造型実習		アパレル造形科	期間区分	2年・通年	時間数	342.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	実技80％・講義20％	なし			
科目概要	1.ジーンズの製図造型、2.シャツ 製図造型、3.オリジナルデザイン上下製図造型、4.裏無し4面構成ジャケット製図造型、5.総裏仕立て3面構成ジャケット製図、オリジナルデザインジャケット製図造型					
習得項目	1、各アイテムの基本シルエットを理解し、応用デザインの製図が出来る。 2、各アイテムの基本縫製を理解し、応用デザインの縫製も出来る。					
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100点満点、「テスト評価」100点満点、「トワル技術・製図技術」100点満点として、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75％未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65％未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	ホームルーム				4/12/2020
	2	ジーンズ製図・トワル作成&チェック				4/13～4/20
	3	ジーンズ縫製				4/21～4/30
	4	シャツ 製図・チェック				5/6～5/14
	5	シャツ 縫製				5/17～5/31
	6	ジャケット基本型4面構成ジャケット製図				6/1～6/9
	7	トワル作成・チェック補正				6/14～6/18
	8	基本型4面構成ジャケット縫製				6/21～6/30
	9	前期終了後にショー作品製作				7/1～7/21
	10	ジャケット基本型3面構成ジャケット製図				9/1～9/10
	11	トワル作成・チェック補正				9/13～9/17
	12	オリジナルジャケット製図				9/21～9/30
	13	トワル作成・チェック補正				10/1～10/8
	14	オリジナルデザインジャケット縫製				10/11～11/30
	15	オリジナルデザイン服制作				12/1～2/15
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	リビ裕子	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して39年				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
工業パターン製図実習		アパレル造形科パタンナーコース	期間区分	2年・通年	時間数	87.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
選択	造形系学科	実技80％・講義20％	なし			
科目概要	パターン検定2級・3級のテキストを使用して、パターン展開の基礎から、応用までのパターンメイキングを指導する。 筆記試験の問題集をもとに、マークシート100問の練習をさせる。 実技試験は、実寸製図・シーチングのピン組み立て・完成パターン作成の指導をする。					
習得項目	1、パターン検定2級・3級の筆記試験に合格をする。 2、パターン検定2級・3級の実技試験に合格をする。 3、アパレル企業で使用する工業用パターンを理解し、迅速に正確なパターンを仕上げる。					
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100点満点、「テスト評価」100点満点、「トワル技術・製図技術」100点満点として、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75％未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65％未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	パターン検定の受験の仕方と勉強方法について説明				4/15/2021
	2	基礎の勉強として、ダーツ展開・基本型ブラウスの説明・練習				4/22～6/30
	3	筆記試験の過去問題集から、マークシートの回答の考え方を指導				7/1～7/13
	4	模擬試験を行う				9/2～9/13
	5	ブラウス製図及びシーチングのピン組み立ての練習をする				9/16～10/4
	6	完成パターンの作成を練習する				10/7～10/21
	7	実技の模擬試験を行う				11/8～12/9
	8	3級合格者は、2級の勉強に入り、2級合格者は、1級を受ける勉強をする				12/13～2/14
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	リビ裕子	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して39年				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
アパレルCAD実習		アパレル造形科	期間区分	2年・前・後期1	時間数	62.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	実技80%・講義20%	なし			
科目概要	ショートカットキーの基礎トレーニングをしてから、各アイテムの製図をしながら、正確にパターンメイキングをしていく技術を身に付けると共に、スピードアップの訓練をして行く。					
習得項目	1、全てのショートカットキーを把握する。 2、PC画面上でパターン全体の実寸イメージを描くことが出来る。 3、製図のスピードを速める訓練の効果が出ている。					
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100点満点、「テスト評価」100点満点、「CAD技術・製図技術」100点満点として、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	CAD操作を覚えながら池田原型を作成				4/13～4/27
	2	原型を使用して、基本型ブラウス製図				5/11～5/25
	3	ジーンズ製図・トワル作成&チェック・補正				6/1～6/15
	4	シャツ 製図・トワル作成&チェック・補正				6/22～7/6
	5	シャツ 工業用パターン作成				7/13～7/20
	6	ジャケット原型作成から、基本型4面構成ジャケット製図				9/7～9/28
	7	トワル作成・チェック・補正				10/5～10/19
	8	基本型3面構成ジャケット製図				11/9～11/30
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	リビ裕子	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して39年				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
卒業制作実習		アパレル造形科	期間区分	2年・後期2	時間数	170
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	実技80%・講義20%	なし			
科目概要	1.各自、オリジナルデザインの作品で就職活動に使用する服を制作する。 2.卒業作品制作の試作・研究をしてから、卒制ファッションショーの服を制作する。					
習得項目	1、各アイテムの応用デザインの製図が自由に出来る。 2、各アイテムの応用デザインの縫製も工夫が出来るようになる。					
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修意欲・習熟度」100点満点、「テスト評価」100点満点、「縫製技術・製図技術」100点満点として、その平均値を算出し評価を行う。(出席率75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となり、出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	各自、卒業作品制作に使用する服の素材を考える。				12/2/2021
	2	使用する服の素材を探す。				12/3～12/7
	3	製図				12/8～12/14
	4	トワルチェック&補正				12/15～12/24
	5	工業用パターン作成				1/11～1/21
	6	生地裁断・芯貼りをする。				1/25～1/28
	7	縫製をする				1/30～2/2
	8	縫製をする。付属品などの小物類を制作し、全てを完成させる。□				2/3～2/15
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	リビ裕子	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して39年				○

2021年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間		
卒業制作ファッションショー制作実習		アパレル造形科	期間区分	2年・前期	時間数 170
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)		
必須	造形系学科	実技80%・講義20%	なし		
科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を変える。衣装デザインを準備する。				
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。				
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・授業参加」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。				
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)
	1	リーダー決定・全体テーマ出し			4/19/2021
	2	仮決定・プレゼンテーションを準備する。理事長にプレゼンをする。			4/26～5/17
	3	カテゴリー案出し。仮決定。			5/24～5/31
	4	担当分け。プレゼンテーションを準備。理事長にプレゼンテーションをする。			6/7～6/28
	5	カテゴリーごとに分かれて打ち合わせをする。			7/5～7/12
	6	各自、後期初日までにデザイン画を描いて来る。			7/19/2021
	担当教員				
講師区分	名	講師略歴			企業・当該実務経験者
常勤	リビ裕子	アパレル企業でパタンナー5年、服飾系専門学校講師歴 継続して39年			○

授業科目名		履修対象	履修期間			
Mac演習2		アパレル造形科	期間区分	2年・通年	時間数	57.5時間
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	演習50%・実技40%・講義10%	なし			
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)の更なる技術取得					
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得 ポートフォリオ作成及びプレゼンテーション実施のための知識と周辺機器(プリンターなど)操作					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「ペーパーテスト」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	授業内容説明(Illustrator・Photoshop中級レベル認識と内容理解)				9月2日～9月2日
	2	illustratorベジェ曲線技術習得				9月9日～9月30日
	3	Illustrator(トレース・エンベロープ)				10月7日～10月14日
	4	Illustratorを使ったコラージュ制作				10月21日～11月11日
	5	Illustrator(遠近法描画)				11月18日～11月25日
	6	Photoshop(マスク設定方法・文字エンボス加工等)				12月2日～12月2日
	7	IllustratorとPhotoshopを使った雑誌広告デザイン制作				12月9日～12月16日
	8	IllustratorとPhotoshopを使ったポートフォリオ制作				12月23日～1月13日
	9	IllustratorとPhotoshopを使った海外広告高度トレース課題				1月20日～1月27日
	10	IllustratorとPhotoshopを使った自由課題制作(各自企画のグラフィック制作)□				1月27日～3月3日
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	梨本	アパレルグラフィックデザイナー・VMD等各種プロデュース 大手アパレル企業デザイナー・国内デザイナーパリコレ衣装制作				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
職業実践講座・企画・トレンド		アパレル造形科	期間区分	2年・通年	時間数	90時間
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	実技60% 講義40%	(株)クレヨン/(株)アズノウアズ /(株)ベネフィット			
科目概要	コレクショントレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。リアルに体験するために実践的に産学授業を取り込みアパレル業界の今を体験する。					
習得項目	1.コレクションブランド分析を行い、ファッショントrendの流れの把握と産学先のブランドに対しての知識習得。 2.今シーズンのトレンドの流れを踏まえ、ブランド企画力を養う(ポートフォリオ作成) 3.プレゼン能力習得					
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	授業内容説明・スケジュール確認等				4/13/2021
	2	トレンド分析と商品企画とは				4/20/2021
	3	2021 F/W コレクショントレンド分析・年代別特徴まとめ				4月27日～5月25日
	4	2021 F/W マイブランド企画、研究及びポートフォリオ制作				6月1日～6月15日
	5	(株)クレヨン本社訪問 産学連携課題説明(シーズン商品企画(仮))				6月22日～
	6	(株)クレヨン様企業研究・店舗リサーチ・レポート作成				
	7	(株)クレヨン課題ワーク				～9月7日
	8	(株)クレヨン課題プレゼン・レポート				9月14日～9月21日
	9	(株)ベネフィット様 産学連携課題説明(オリジナルグラフィックTシャツ(仮))				9/28/2021
	10	(株)ベネフィット様 企業研究・店舗リサーチ・課題ワーク				10月5日～11月2日
	11	(株)ベネフィット様 プレゼン				11/9/2021
	12	(株)アズノウアズ様 課題説明(リメイク(仮))				11/16/2021
	13	(株)アズノウアズ様企業研究・店舗リサーチ・課題ワーク				11月30日～1月18日
	14	(株)アズノウアズ様課題プレゼン・レポート				1月25日～2月1日
	15	DPTショー準備期間				2月8日～2月28日
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
担当教員						
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	吉岡	中小アパレルメーカーでのファッションデザイナー・MD・生産実務経験 大手アパレルメーカーでのファッションデザイナー実務経験				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
デザインクリエイション		アパレル造形科	期間区分	2年・通年	時間数	32.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
選択	造形技術系	実技・実習	なし			
科目概要	体験実習を通してデザイン、デザイナーについての基礎知識や作品製作技術を身につける。 1.素材や加工テクニックについて実習を通して理解を深め、コンセプトメイキングや各自の作品製作に生かしてデザイン力の発展をはかる。 2.デザイナー、またはパタンナーとして就業後に必要となる知識とスキルを身につける。					
習得項目	1.シルクスリーンプリントテクニック 2.染色、加工技術実習 3.企画書、仕様書の作成					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	0	学事イベント				4/12
	1 実践実習	コンテスト作品	コンテストスタイル画作品 「千年大賞」ユニフォームデザイン 「装苑賞」ポートフォリオ・デザインブック 新宿ファッションフィールド			4/19～
						5/31(6回)
		デザイン手法	卒業制作に向けた リサーチ・コンセプトメイキング・プレ インストミーング			6/7
						7/19(7回)
	2 応用実習	修了作品表現研究	イメージ素材表現 サンプル～試作実習			9/6～
						10/18(6回)
	3 発展実習	修了作品製作	作品製作			11/1
						3/7(15回)
担当教員						
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	石川	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からデザイン案構築に必要な分析力、コンセプトメイキングを指導する。				○

授業科目名		履修対象	履修期間			
就職キャリアデザイン		アパレル造形科	期間区分	2年・前期	時間数	32.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
必修	造形系学科	講義50 演習50				
科目概要	就職やキャリア形成のために必要な知識・マナーを習得する。					
習得項目	就職活動の際に必要な、書類作成の手順や面接マナーを学び、志望企業の内定獲得を目指す。学生同士での模擬面接や実技試験練習を行こない、一般的な面接・実技試験に備える。また、アパレル以外の業界への理解も深めることで、就職後のキャリア形成や新規事業開拓に役立つ知識を身につける。					
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「模擬面接」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				実施予定日
	1	オリエンテーション(就活の流れ、22年新卒採用状況)				4/15/2021
	2	応募、エントリー情報の調べ方、求人票のチェックポイント				4/22/2021
	3	書類作成(各項目の記述解説、履歴書作成)				5/6/2021
	4	web面接対策(一般的なweb面接ツールの解説、マナー指導、自己紹介)				5/13/2021
	5	校内企業説明会				5/20/2021
	6	面接解説(マナー指導、よくある出題と対策)				5/27/2021
	7	模擬面接				6/3/2021
	8	模擬面接				6/10/2021
	9	実技試験対策(過去事例の紹介、練習)				6/17/2021
	10	実技試験対策(模擬テスト)				6/24/2021
	11	アパレル以外の業界・企業研究(他業界との関わり、業界・企業紹介、課題作成)				7/1/2021
	12	アパレル以外の業界・企業研究(課題発表)				7/8/2021
	13	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて				7/15/2021
	担当教員					
講師区分	名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	久野	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。				○